

爭議發生原因―高率小作料減免―兇作
爭議概要

既ニ六ヶ年續キ近畿切ツテノ大爭議トシテ天下ノ視目ヲ集メテ來タコノ爭議ハ、小作人ニ不利ヲモタラシメ十數名ノ刑法上ノ犧牲者ヲ出ス、地主ハ昭和土地會社ヲ設立シ小作人ニ對抗シ、當時ノ指導者全國農民組合幹部ハソノ解決困難ト見テ爭議ヨリ手ヲ引テ、以來小作人ノ負擔ハ加重シ益々生活苦ニオチ入り現在デハ唯絶望視セル、ニ致ツタ、爭議ハマガリナリニ解決セシモノモアツタガ、八年ニ於ケル三十町步土地立入禁止ニヨツテ農民ノ死活、人道問題トシテ社會ヨリ地主ニ對シ難雜ノ聲サエ起ルニイタツタ、現爭議未解決ニアル。

土地百三十町步（土地會社管理）小作人百三十名、地主六十名ノ多數人員ガ現在ノマ、デアル、日高小作爭議關係農民ハ去ル九年四月皇國農民同盟ニ加盟ト同時ニ從來ノ非國家的主義ヲ捨

テ日本精神ノ原理ニ基キ農村改革ヲ期セント全員ハ新レイ運動ト爭議解決ニ奮闘シツ、アル。

ソノ後憲兵隊ハ双方ノ間ニ調停ニ入り國家非常時ノ際速ニ合理的解決ヲ爲シ健全ナル新農村建設ヘト努力スベシト解決ニ斡旋サレテ來タガ今尙未解決ノ狀態デアル。

尙參考マデニ、地主側ガ土地會社ヲツツテ立入禁止ノ田ヲ耕作シタソノ成績ハ全ク成ツテ居ラズ、イタズラニ田地ヲ荒廢セシメルノミデ、自分ノ子ノ様ニ田畑ヲ思フ小作人ハ悲愴ナ憤リヲ感ジテイル。即チ昭和八年度地主ガ立禁地、耕作成績一段歩ニ付タツタ玄米四斗九升ナリコレヲ見テモ如何ニ地主ハ今日マデ農地ヲ忘レ、ソレヲ見捨テ、イタカマ地主ガ初メテ耕作シテワカツタノデアル。

寺島宗一郎他數氏ヨリ意見アリ、本問題ニ付イテ種々討議アリ
結局